

講習会・勉強会活動報告

テーマ : マイオチューニングアプローチ (MTA : Myotuning approach)

基礎コース講習会・筋触察勉強会

講師 : 帝京科学大学 東京理学療法学科

教授 高田 治実 先生

インストラクター : 有田俊三・西野琢也・吉岡正和・原野大助・松浦和文

日時 : 平成 22 年 6 月 12 日・13 日 10 月 16 日・17 日 11 月 20 日・21 日

2 月 5 日・6 日 2 月 24 日

- 内容 : 1. 肩甲骨周囲筋・上肢筋の触察・基本手技と治療法
2. 腰部周囲筋の触察・基本手技と治療法
3. 頸部周囲筋の触察・基本手技と治療法
4. 下肢筋の触察・基本手技と治療法
5. 筋触察勉強会 (前腕伸筋群)

参加人数 : 1 回目 約 42 名 2 回目 約 30 名 3 回目 約 30 名 4 回目 約 30 名 触察会 約 20 名
(PT OT ST)



MTAは、筋(myo)を調整(tuning)するアプローチであり、神経生理学的現象を利用して主に筋が原因で生じる症状を改善するアプローチです。はじめにMTAの理論、次に筋のマーキングと触察法の練習を行いました。

「MTAの目的は、痛み、痺れを改善し、筋緊張を調整することにより、関節可動域や運動能力を向上させ、ADL および生活の質を高め、精神的苦痛を和らげること。」

「MTAと他の運動療法を併用しながら効果を高めていくことが重要である。」と教わりました。



基本的な解剖学、運動学、痛みの評価方法、筋の触察方法を踏まえマイオチューニングアプローチを教えてくださいました。高田先生には2日間にわたりご講義いただきましてありがとうございました。

(文責 副センター長 西野 琢也)